

2022年5月20日

各位

株式会社北都銀行

芙蓉総合リース株式会社および芙蓉オートリース株式会社との
秋田県内における「ゼロカーボンシティ」の取組推進について

株式会社北都銀行（頭取 伊藤 新）は、フィデアグループのフィデアリース株式会社（代表取締役 高橋 均）と芙蓉総合リース株式会社（代表取締役社長 織田 寛明）および芙蓉オートリース株式会社（代表取締役社長 長野 克宣）が連携して提供する「芙蓉 ゼロカーボンシティ・サポートプログラム」（以下、本プログラム）により、秋田県内における「ゼロカーボンシティ」の取り組みを推進いたします。

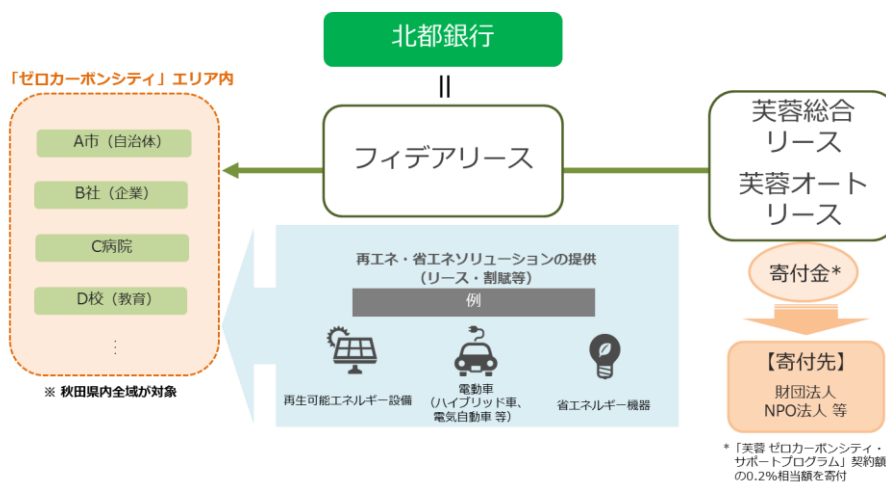
本プログラムは、「ゼロカーボンシティ[※]」を表明した自治体エリア内に設置される電動車等（例：ハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車）や、再生可能エネルギー・省エネルギー設備機器他を導入するお客さま（自治体、企業、医療機関・教育機関等の団体）に対して、自己資金なしで導入可能な、リース・割賦等のファイナンスを行うとともにその契約額の一部についてお客さまと芙蓉リースグループおよびフィデアリースが連名で寄付を行う寄付金型プログラムです。

秋田県では、県及び県内の複数の自治体がゼロカーボンシティを宣言しています。今般の業務提携により弊行は、フィデアリースと連携し、対象車両・設備・機器を導入されるお客さまに、リース契約等を通じて本プログラムを提供いたします。

弊行では、「北都グリーンアクション」として脱炭素社会実現に向けた取り組みを県内に浸透させ、再エネを軸とした新たな産業を創出することを目指しています。本件は同アクションの第11弾になりますが、今後もカーボンニュートラルの実現に資する取り組みを通じて、地域の皆様とともに秋田県の持続的な発展と課題解決に一層貢献してまいります。

※ 「2050年までに温室効果ガスまたは二酸化炭素の排出量を実質ゼロ」にすることを公表した地方自治体

【プログラム推進スキーム】



北都グリーンアクション

地域金融機関として、秋田県全体の脱炭素化に向けた行動連鎖を喚起するための取り組みです。県内の再生可能エネルギー需要を掘り起こし、再エネを軸とした新しい産業創出を目指しております。

<これまでの取り組み>

- 第1弾 「再エネ100宣言 RE Action」参加(2021年1月)
- 第2弾 「ほくと・グリーン私募債」と「ほくと・グリーン私募債(寄付型)」の取扱開始(2021年4月)
- 第3弾 秋田大学、三菱商事エナジーソリューションズ、ウェンティ・ジャパン、当行の四者による風力発電分野における産学金連携に関する協定を締結(2021年5月)
- 第4弾 環境省「地域ESG融資促進利子補給事業」指定金融機関に選定(2021年7月)
- 第5弾 環境省「令和3年度ESG地域金融促進事業」の採択(2021年7月)
- 第6弾 洋上風力発電事業を通じた国内サプライチェーン・産業基盤の新規創出、地域経済の活性化に関する共同検討開始(2021年8月)
- 第7弾 産学金連携による国際教養大学への寄附講座の開設(2021年9月)
- 第8弾 「〈ほくと〉SDGs/ESG経営支援サービス」の開始(2021年9月)
- 第9弾 三井住友海上火災保険との脱炭素に関する連携協定締結(2021年12月)
- 第10弾 ゼロボードとの脱炭素に関する業務提携締結(2022年4月)
- 第11弾 本件

以上

《本件に関する問い合わせ先》

営業推進部 地方創生室(担当:佐藤) 018-837-1701